

こどもと大人が自由に、対等に、話すとどうなるのか。
「いい子って何?」「虫と動物の命の大きさは同じ?」など
身近だけど答えのないテーマで対話し紡いできた
犬山発「犬てつ」の3年間の記録が
一冊の本になりました!

人の意見を聴けるようになった、
というか聴きたいのかも。
『あなたはどんな考えなの?』
って知りたくなった。
(犬てつ参加者小5の声)

じぶんはこんなことを
おもってるんだな
とおもいました。
(犬てつ参加者小1の声)

こどもと大人が
同じテーマで話すと
見えてくる新しい世界。
考えるっておもしろい。
そう思える一冊!

子供達の発言には
ハッとさせられてばかり。
物事を知っていることで
正しい判断をできるわけでは
ないことを痛感しています。
(犬てつ参加者大人の声)

正解か間違いかは関係ない。
じぶんの中のはてなを
育てることが大事なの



はてなちゃん



「こどもと大人の てつがくじかん」

てつがくするとはどういうことか?

著者：ミナタニアキ、安本志帆、河野哲也、高橋綾、松川えり、三浦隆宏
全268ページ/犬てつ（犬山×こども×大人×てつがく×対話）編/Landschaft出版